

昭和业务所 第2期太陽光パネル発電設備稼働について

ZACROS株式会社(本社：東京都文京区、代表取締役社長：下田 拓)は、情報電子事業の主力工場である昭和业务所(群馬県昭和村)における再生エネルギー活用推進の一環として、2024年10月1日より第2期太陽光パネル発電設備の稼働を開始いたしました。本設備は、昭和村より取得した関屋工業団地近郊の未利用地13,508㎡に自営線電柱を設置した自家消費型発電設備です。同事業所の第1期設備稼働と合わせて、年間約1,270トンのCO₂排出量削減を実現する見込みです。



昭和业务所の太陽光パネル発電設備設置エリア

当社は低炭素社会の実現を重要課題(マテリアリティ)のひとつと位置づけ、2030年までにエネルギー消費によるCO₂排出量50%削減を目標に掲げています^{※1}。その方策のひとつが、自家消費型太陽光発電設備の導入です。昭和业务所では、敷地内の駐車場と緑地に設置した第1期発電設備が2022年4月より稼働しており、このたび増設した発電設備と合わせて、同事業所の年間電力消費量の約18%を再生可能エネルギーで賄うことが可能となります。これにより、約1,270トンのCO₂排出量削減効果を見込んでおります^{※2}。今後も自家消費型太陽光発電設備等による再生可能エネルギーの利用拡大を進め、地域社会とともに低炭素社会の実現に取り組んでまいります。

当社グループのサステナビリティに関する取り組みの詳細は[こちら](#)をご覧ください。

※1 2014年度比、原単位：排出量/付加価値

※2 第2期発電設備単体稼働によるCO₂排出量削減効果は約670トンと試算

※ 関連ニュースリリース

● 昭和业务所 太陽光パネル発電設備稼働について：リンクは[こちら](#)

■ 本件に関するお問い合わせ先

ZACROS株式会社 社長室 ブランディング推進グループ

URL：<https://www.zacros.co.jp/contact/>